

Profile

竹内千春プロフィール

1968年、宮崎県延岡市で居酒屋を営む両親の下、4人兄弟の末っ子に生まれる。大学卒業後、会社勤務を経て、アメリカで日本語教師をしながら、大学院で社会行政学、教育学を学ぶ。帰国後、短大の教員となる。教え子からセクハラの相談を受けたことをきっかけに35歳で一念発起し、41歳で弁護士になる。

一人ひとりの依頼者の苦しみの背景にある社会全体を変えていきたい、という思いから政治をめざす。

2024年10月の衆議院議員選挙で初当選。以来、地域の皆様一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、その思いを国会へと届ける活動を一貫して続ける。

文部科学委員会、災害対策特別委員会、外務委員会、憲法審査会において委員を務め、現場に溢れる声を政策へとつなぐ役割を果してきた。

主な学歴

- 中央大学文学部文学科英米文学専攻卒業
- ジョージアサウスウェスタン大学
社会行政学修士課程修了
- ジョージア大学教育学修士課程修了
- 大宮法科大学院法務博士（専門職）
- イリノイ大学ロースクール客員研究員

主な職歴

- 電通ヤング＆ルビカム株式会社
- 南九州短期大学国際教養学科・助教授
- 紀尾井町法律事務所
- のぞみ総合法律事務所
- 日本銀行決済機構局
- 日本弁護士連合会国際室・室長

あなたの声にこそ、政治を変える力がある

子ども・若者を 大切にする社会

- ◆ 教育の無償化を進め、学びの機会を保障・児童手当の拡充・奨学金返済の負担軽減
- ◆ 学童保育の拡充で安心して働ける環境づくり

持続可能な社会を次世代へ

- ◆ 災害対策と復興支援の強化
- ◆ 介護保険・年金制度の見直し
- ◆ 地域公共交通の活性化

人権が守られる公正な社会

- ◆ 再審法の改正
(えん罪を防ぎ、正義を取り戻す司法へ)

安心して働く社会

- ◆ 非正規雇用者の待遇改善
- ◆ 教員の働き方改革
- ◆ 保育士、介護職員、看護師等の待遇改善

竹内千春の目指す 政策



一人世帯を支援する

- ◆ 夫婦・子ども世帯を標準としてきた税・社会保障制度の見直し
- ◆ 単身者も老後の不安なく、尊厳をもって生きられる社会制度の構築

政治改革を進め、利権政治を終わらせる

- ◆ 企業・団体献金の禁止
- ◆ 公文章の透明性を高める
- ◆ 国民の政治参加推進

高齢者が安心して 暮らせる社会

- ◆ 介護支援の充実・高齢者の移動支援
- ◆ 孤立・孤独を防ぐ地域づくり

個人が尊重される社会

- ◆ 選択的夫婦別姓制度の実現
- ◆ 障がい者の就労支援強化
- ◆ 高額療養費の限度額引き上げの凍結
- ◆ ジェンダー平等の推進
- ◆ 多様な性を認め合う社会
- ◆ 多文化共生

竹内千春